

定置網漁獲統計調査

笹木大地

目的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

方法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・磯崎・木本・阿田和1号・阿田和2号の17漁場を対象に令和2(2020)定置年度(令和2(2020)年10月～令和3(2021)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

結果

詳細については令和2定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

令和2(2020)定置年度の総漁獲量は6,583トンで前年度の120.2%、過去10年平均の108.8%であった。魚種別ではブリ(6kg以上の銘柄)が2,789トンで全魚種の42.4%を占めた。次いでサバ類が731トン、ワラサ(2～6kg)が556トン、マアジが405トン、サワラが273トンの漁獲があり、上位5種で全体の72.2%を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、イワシ類(前年度比14.5倍)、マルアジ(同8.9倍)、タチウオ(同5.0倍)、ボラ(同4.3倍)、サワラ(同3.7倍)、ウスバハギ(同3.6倍)、カタクチイワシ(同3.0倍)、ヒラソウダ(同3.0倍)、ウルメイワシ(同2.5倍)、スルメイカ(同2.5倍)、ワラサ(同2.3倍)、トビウオ類(同2.0倍)等であった。

逆に減少した魚種は、マイワシ(前年度比11%)、シイラ(同31%)、イナダ(同35%)、イサキ(同64%)、マグロ類(同71%)、メジナ(同75%)等であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は、355,800尾(前年度の128.6%)で、過去50年で最多の漁獲尾数であった。ブリのまとまった入網は3月中旬から4月下旬に集中してみられ、4月だけで全体の61%、3月～4月では全体の97%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、3月22日の28,616尾でこれは3月としては過去50年の最多記録となった。次いで4月7日の24,316尾、4月4日の20,524尾、4月9日の20,011尾、4月15日の18,680尾、4月14日の17,385尾、4月8日の16,829尾、4月11日の14,663尾であった。前年に11日あった1万尾以

表1. 全漁場魚種別漁獲量

令和2(2020)年10月～令和3(2021)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	2,789,246	42.373
2	サバ類	730,611	11.099
3	ワラサ	555,917	8.445
4	マアジ	405,287	6.157
5	サワラ	272,513	4.140
6	カタクチイワシ	171,494	2.605
7	スルメイカ	151,548	2.302
8	ウスバハギ	98,991	1.504
9	イサキ	95,553	1.452
10	その他アジ類	88,338	1.342
11	マルソウダ	84,813	1.288
12	イナダ	81,901	1.244
13	ツバス	77,179	1.172
14	カンパチ	71,999	1.094
15	シイラ	69,637	1.058
16	マダイ	64,532	0.980
17	イワシ類	64,303	0.977
18	ウルメイワシ	63,279	0.961
19	ヒラソウダ	45,380	0.689
20	ムツ	37,982	0.577
21	イシダイ	36,803	0.559
22	ヤマトカマス	35,074	0.533
23	マルアジ	34,926	0.531
24	タチウオ	31,748	0.482
25	メジナ	24,812	0.377
26	マイワシ	24,780	0.376
27	サバフグ類	23,751	0.361
28	アオリイカ	21,247	0.323
29	トビウオ類	20,417	0.310
30	アカカマス	17,188	0.261
31	ヒラマサ	15,603	0.237
32	マグロ類	11,606	0.176
33	ボラ	10,431	0.158
34	カツオ	9,864	0.150
35	ヒラメ	8,957	0.136
36	ウマヅラハギ	8,424	0.128
37	ハガツオ	8,052	0.122
38	チダイ	7,946	0.121
39	コショウダイ	7,758	0.118
40	ケンサキイカ	7,580	0.115
41	ヘダイ	7,444	0.113
42	カワハギ	3,027	0.046
43	スズキ	2,465	0.037
44	マトウダイ	2,132	0.032
45	カマス類	1,730	0.026
46	クロダイ	1,478	0.022
47	ヒラスズキ	1,108	0.017
48	その他イカ類	879	0.013
49	ヤリイカ	53	0.001
50	その他雑魚	174,789	2.655
	合計	6,582,574	100.000

上の漁獲は13日に増加し、前年に引き続き豊漁となった。ワラサ(2~6kg未満)の全漁獲尾数は、137,572尾(前年度の258.9%)で、過去50年で10番目の漁獲尾数であった。ワラサの入網は4月上旬から断続的に続き、5月上旬にまとまった。また、6月にも1日3,000尾以上の大漁日がみられた。4月は全体の27%、5月は29%、6月は20%とこの3か月で大部分が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、5月7日の9,319尾であった。次いで5月6日の8,083尾、6月13日の7,020尾、6月30日の5,902尾、5月9日の4,820尾、6月14日の4,757尾、5月5日の4,189尾であった。2018年、2019年に引き続き1万尾以上の漁獲は1日もなかったが、5,000尾以上の漁獲日がみられるなど、極端な不漁とはならなかった。

イナダ(0.5~2kg)の全漁獲尾数は、76,469尾(前年度比35.1%)、当歳魚が主体となる8月~9月を入れない集計期間では55,507尾(前年度比31.6%)であった。漁獲主体となった2020年生まれに加え、8月~9月は当歳魚が漁獲され、年度の合計では過去50年で21番目の漁獲尾数であった。

関連報文

三重県(2022)：令和2定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計。

笹木大地・久野正博(2022)：熊野灘における定置網の漁場水温とブリ漁況。黒潮の資源海洋研究。23,81-88。

笹木大地(2022)：三重県におけるブリ2021年級群の特徴。第61回ブリ資源評価・予報技術連絡会議報告。